

## 経営戦略研究科（IBA）創立10周年記念号の 発刊によせて

「ビジネス&アカウンティングレビュー」IBA 創立10周年記念号を発刊するに際し、一言ご挨拶申し上げます。

IBA (Institute of Business and Accounting) は、ビジネス／経営とアカウンティング／会計を学ぶための専門職大学院として2005年に創立されました。スクールモットーである Mastery for Service の精神を体現し、高度なビジネス倫理観と専門知識をもち、かつグローバルに活躍するビジネスパーソンの養成を目指しております。現在の定員はビジネススクール200名、アカウンティングスクール170名、計370名であり、西日本最大の規模・内容を誇っております。IBA の前身は、1993年に設立された商学研究科マネジメントコースであり、社会人が勤務の終わった後にビジネスについて学ぶリカレント教育のための大学院でありました。IBA の修了生はこの10年間に1391名を数え、商学研究科マネジメントコース時代を合わせると、1600名を超える修了生を輩出しております。また2008年には大学院博士課程後期課程として先端マネジメント専攻が設置されております。

さて、学術雑誌「ビジネス&アカウンティングレビュー」は2006年3月に創刊されております。2009年までは毎年1回発刊、2010年からは年2回の発刊となり今回で16号を数えております。創刊に当たって当時の研究科長マーティン・コリック先生は、“理論と実践の融合”の理念の下、一方では学問的に最高の研究水準を目指し、他方では、単なる理論の域を超えて、専門職大学院の研究成果にふさわしいビジネスと会計の“real world”と密接な関係をもつべきであると記しておられます。

今回・本誌創立10周年記念号の発刊を契機に、IBA の原点である「理論と実践の融合」を目指した最先端の研究成果が掲載され、今後の研究活動が一層促進されることによってIBA の発展ひいては関西学院大学、日本の研究水準が高まることを期待しております。

2015年12月吉日

関西学院大学専門職大学院

経営戦略研究科長 定藤繁樹